

津地区の景況調査

平成22年上期実績と平成22年下期見通し
(平成22年7月調査)

津商工会議所・中小企業相談所

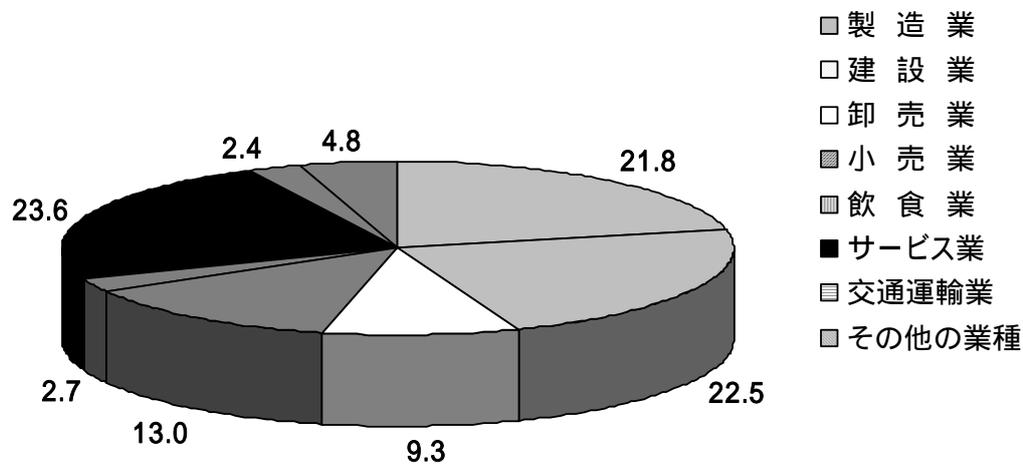
も く じ

調査概要	1
調査結果	4
1 現状と今後の見通し	4
2 売上状況と来期の見通し	7
3 売上の現状	9
4 利益状況	10
5 販売条件と仕入条件	11
6 設備投資	13
7 資金繰りの動向	13
8 借入の動向	15
9 借入予定と借入希望先	15
10 経営上の問題点	17
付帯調査	
調査票	19

回答状況

業種別回答比率

(単位：%)



業種別従業員規模

(単位：上段 - 企業数・下段 - %)

	0~5人	6~20人	21~50人	51~100人	101人以上	計
全産業	198	96	31	22	30	377
	52.5	25.5	8.2	5.8	8.0	
製造業	31	19	8	8	16	82
	37.8	23.2	9.8	9.8	19.5	
建設業	49	28	5	2	1	85
	57.6	32.9	5.9	2.4	1.2	
卸売業	13	11	6	3	2	35
	37.1	31.4	17.1	8.6	5.7	
小売業	35	6	2	3	3	49
	71.4	12.2	4.1	6.1	6.1	
飲食業	9	1	0	0	0	10
	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
サービス業	53	21	6	4	5	89
	59.6	23.6	6.7	4.5	5.6	
交通運輸業	0	4	2	2	1	9
	0.0	44.4	22.2	22.2	11.1	
その他の業種	8	6	2	0	2	18
	44.4	33.3	11.1	0.0	11.1	

全 産 業 D I

	業況判断	売り上げ	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
22年7月～12月 見通し	56.5	45.0	-	-	-	27.1
22年1月～6月 実績	54.3	39.4	43.0	38.7	28.1	22.3
21年7月～12月 実績	60.3	57.1	52.8	51.8	27.7	32.0
21年1月～6月 実績	65.4	61.0	62.6	56.0	30.2	40.2

産 業 別 D I (22年1～6月期)

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	57.4	29.3	34.1	39.0	32.9	20.6
建 設 業	62.3	40.0	43.4	37.6	30.7	28.2
卸 売 業	65.7	54.2	57.1	51.3	37.1	2.9
小 売 業	36.7	34.7	28.5	18.3	14.3	18.3
飲 食 業	80.0	80.0	90.0	60.0	40.0	70.0
サービス業	46.1	37.1	43.8	46.1	24.6	22.5

調査結果

1. 現状と今後の見通し(表-1、図-1・2参照)

平成21年上期調査より対象企業を小規模企業からFAX登録されている全会員企業に拡大実施。

(1) 現況

全産業の業況判断DIは3期連続改善(前々期 65.4 前期 60.3 今期 54.3)

小規模企業は小幅な改善に留まる。

小売業では回復幅は大。卸売業では依然厳しい業況が続く。

全産業の業況判断DIは、今期実績値 54.3は前期 60.3と比べ、6ポイントの改善となっており、前々期 65.4を底に2期連続の改善傾向が読み取れる。改善幅は前回5ポイントであり、今回の6ポイントとほぼ横ばいの推移である。小規模企業は改善幅が前回4.6、今回3.3ポイントと全体より小さく、後を追う数値となっている。業種別では小売業25ポイント改善と、他業種と比べて回復幅が大きくなっている。また、小規模企業でも小売業は同様の動きを見せている。一方で建設業・製造業は堅調に改善の兆しが見られるが、小規模企業では製造業は横ばいが続いている。卸売業では前期では改善が見られたものの今期は悪化し、顕著な改善傾向は読み取れない。

(2) 今後の見通し

今後の見通しではほぼ横ばい。

全産業の見通し判断DIは 56.5と、今期の現状実績値 54.3と比べ2.2ポイント減少と慎重な見通しを示している。製造業ではやや改善の見通しが伺え、小規模企業も同様の見通しである。しかし、その他の業種では横ばいを示しており、回復基調の顕著だった小売業では 44.9と実績値より8.2ポイント低い見通しを示している。

表-1 経営の現状と今後の見通し

	実 績			来期の見通し
	21年1月~6月	21年7月~12月	22年1月~6月	22年7月~12月
全 産 業	65.4	60.3	54.3	56.5
	70.6	66.0	62.7	63.0
製 造 業	60.9	65.6	57.4	52.4
	67.4	69.4	70.0	64.0
建 設 業	73.3	67.0	62.3	65.8
	74.6	69.8	65.0	67.6
卸 売 業	64.1	51.3	65.7	59.9
	76.0	57.9	76.9	53.9
小 売 業	58.4	61.9	36.7	44.9
	69.4	74.4	51.4	57.0
飲 食 業	66.6	58.8	80.0	100.0
	70.0	54.6	77.7	100.0
サービ業	63.9	53.0	46.1	50.6
	65.4	56.7	58.5	56.5

下段DI値は小規模企業

期 産業	実績			来期の見通し
	21年1月~6月	21年7月~12月	22年1月~6月	22年7月~12月
全産業				
製造業				
建設業				
卸売業				
小売業				
飲食業				
サービス業				

D I = 好転(良い、やや良い)の割合 - 悪化(やや悪い、悪い)の割合 はマイナス表示

下段D I 値は小規模企業

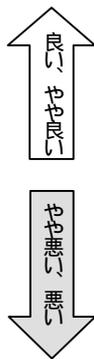
表内の景気天気図は各期ごとのD I 値により表示



景気判断 D I

50以上100 25以上 0 以上 25以上 50以上 100
50未満 25未満 0 未満 25未満 50未満

図 - 1 津地区の経営の現状と見通し



・棒グラフは構成比(%)
・折線グラフはBSI値

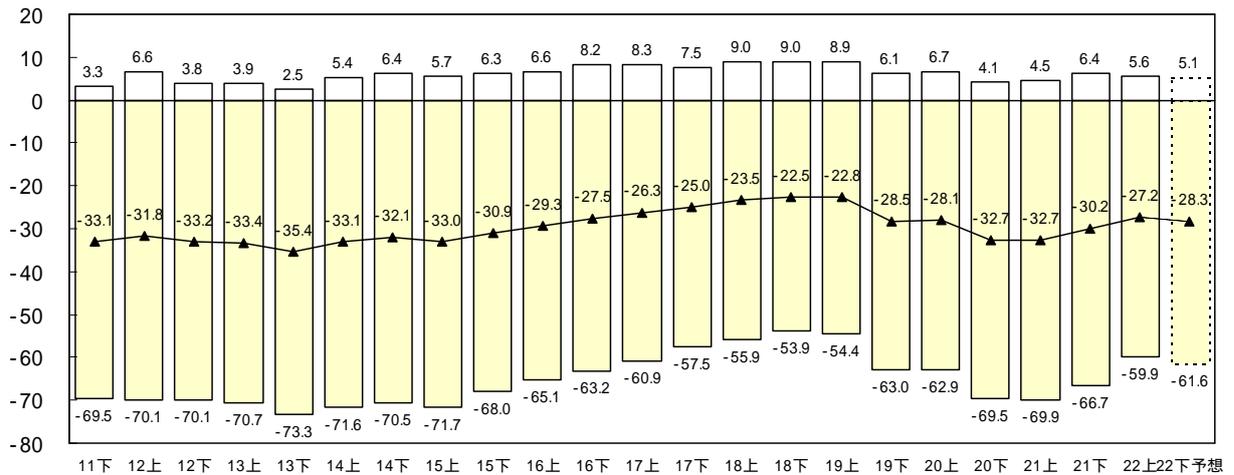
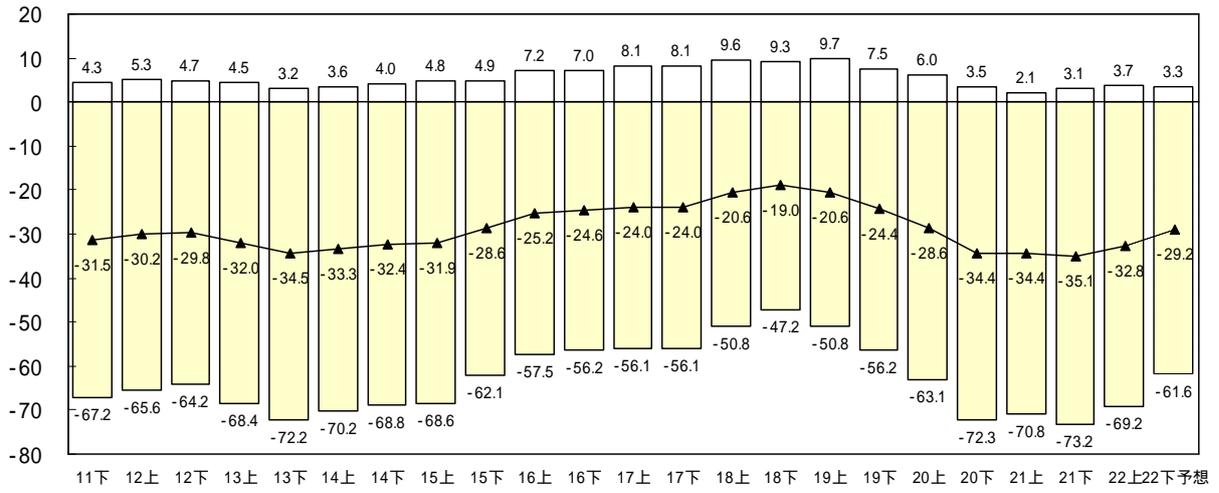
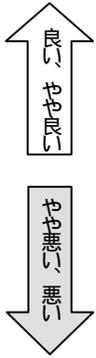


図 - 2 三重県下の経営現状と見通し

・棒グラフは構成比(%)
 ・折線グラフはBSI値



2. 売上状況と来期の見通し（表 - 2 参照）

(1) 今期の動向

全産業の売上DIでは改善が見られる。（前期 57.1 今期 39.4）

製造業・小売業・サービス業で全産業DIよりも高い水準で改善。

全産業の売上DIは今期 39.4、前期 57.1 と比べ 17.7 ポイントの改善となった。前々期の改善幅の 3.9 ポイントと比較すると大幅な改善となった。業種別で見ると製造業が今期 29.3、前期 62.5 と比べ 33.2 ポイントの改善、小売業が今期 34.7、前期 69.8 の 35.1 ポイント改善、サービス業でも 15.9 ポイント改善となっており、全産業よりも高い水準で売上状況の改善が見られた。また小規模企業で見ると製造業は全体ほどの改善は見られない。（改善幅 18.5 ポイント）

(2) 今後の見通し

今後の売上見通しでは、建設業で慎重な見通し。

全産業の売上見通し判断DIは 45.0、今期の現状実績値 39.4 と比べ 5.6 ポイントのマイナス幅増加となった。業種別では、建設業が見通し 61.2、今期実績値 40.0 と 21.2 ポイントの悪化となっており、他の業種がほぼ横ばいの状況を示しているのに対し慎重な見通しである。

表 - 2 最近の売上と今後の見通し

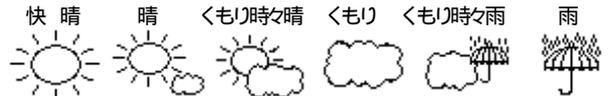
	実 績			今後の見通し
	21年1月～6月	21年7月～12月	22年1月～6月	22年7月～12月
全 産 業	61.0 64.7	57.1 59.6	39.4 45.9	45.0 52.5
製 造 業	60.9 59.3	62.5 64.5	29.3 46.0	29.3 42.0
建 設 業	61.6 63.3	47.3 50.0	40.0 40.3	61.2 59.8
卸 売 業	64.1 72.0	48.7 52.6	54.2 61.6	48.6 69.3
小 売 業	67.0 73.5	69.8 74.4	34.7 45.7	34.6 48.6
飲 食 業	22.2 60.0	64.7 63.6	80.0 77.8	100.0 100.0
サ-ビス業	64.0 70.2	53.0 52.8	37.1 39.6	46.1 45.3

期 産業	実 績			来期の見通し
	21年1月～6月	21年7月～12月	22年1月～6月	22年7月～12月
全 産 業				
製 造 業				

建設業				
卸売業				
小売業				
飲食業				
サービス業				

DI = 好転(良い、やや良い)の割合 - 悪化(やや悪い、悪い)の割合 はマイナス表示

表内の景気天気図は各期ごとのDI値により表示



景気判断 DI

50以上100 25以上 50未満 0以上 25未満 25以上 50未満 50以上 100 100 50未満

下段DI値は小規模企業

3. 売上の現状 (図 - 3・4 参照)

売上状況を「増加」「やや増加」とした企業は 19.4% (前期 13.4%)

今期売上が増加した企業は全体で377企業中73企業19.4% (前期13.4%)、小規模企業では255企業中39企業15.3% (前期12.1%)。全体、小規模ともに増加となった。

一方、今期売上が減少した企業は377企業中221企業58.6% (前期70.6%)、小規模企業では255企業中155企業60.8% (前期74.7%)。全体、小規模企業ともに減少となった。

図 - 3 津地区の売上の現状と見通し

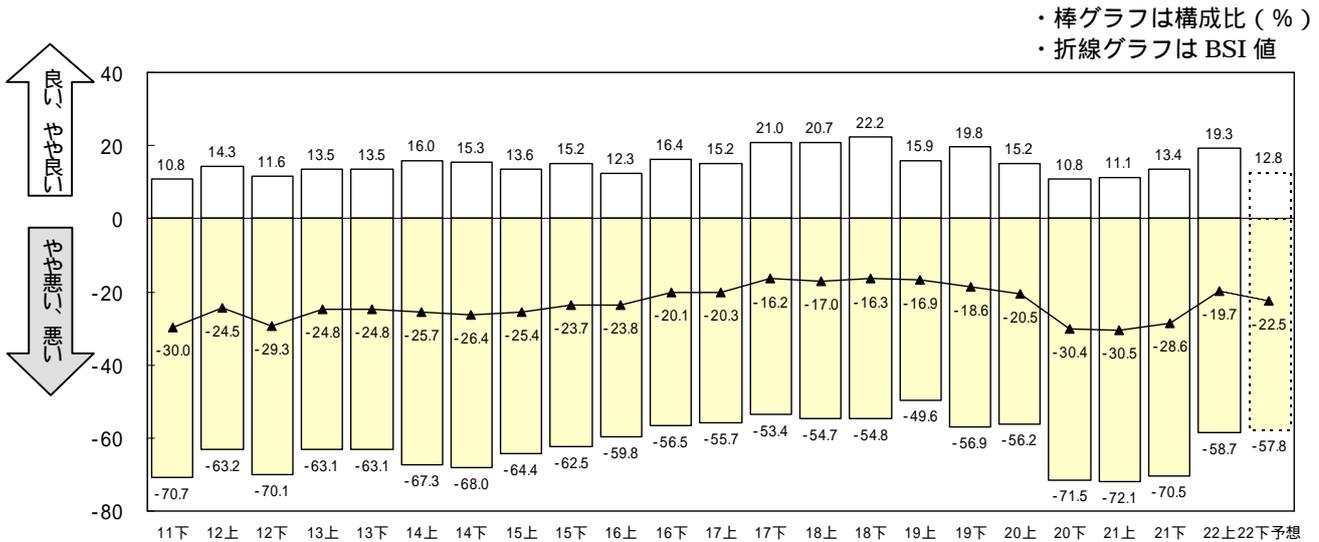
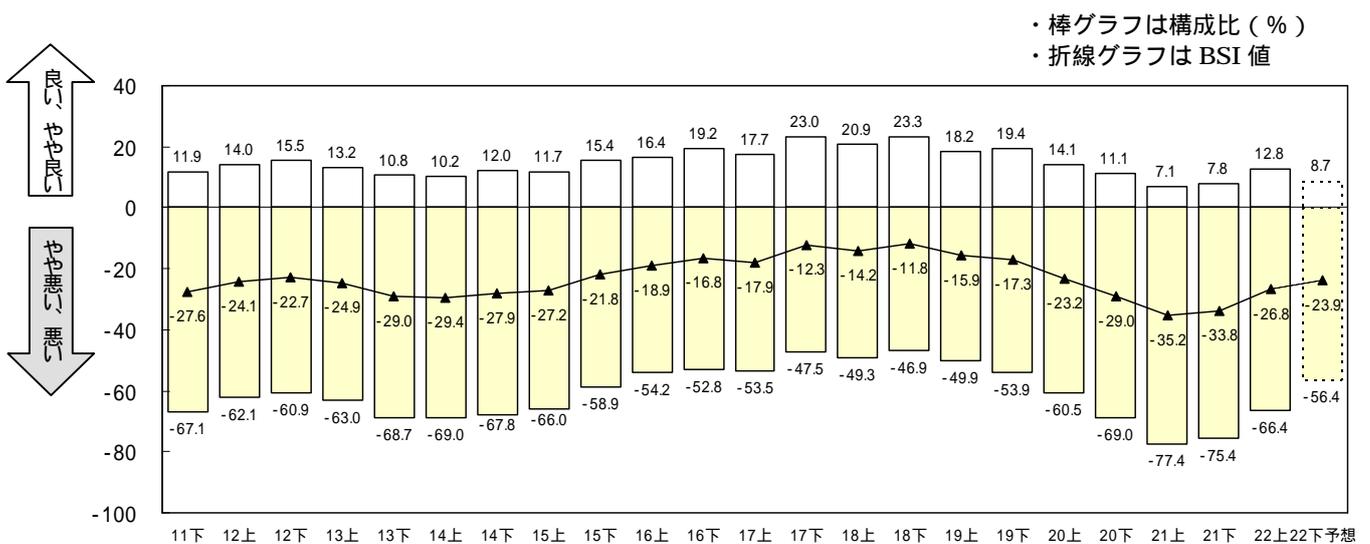


図 - 4 三重県下の売上の現状と見通し



4 . 利益状況 (表 - 3、図 - 5 参照)

小規模建設業で利益状況の改善数値を示す。

全産業の利益判断DIは 43.0 と前期 52.8 に比べ 9.8 ポイント上昇した。業種別で見ると小売業で 19.1 ポイント上昇、製造業で 21.2 ポイント上昇となっている。小規模企業で見ると建設業で 25.1 ポイントと全業種の中で最も高い数値を示した。サービス業・卸売業では全体では横ばい、小規模企業ではやや悪化と活発な動きは見られなかった。

表 - 3 利益状況

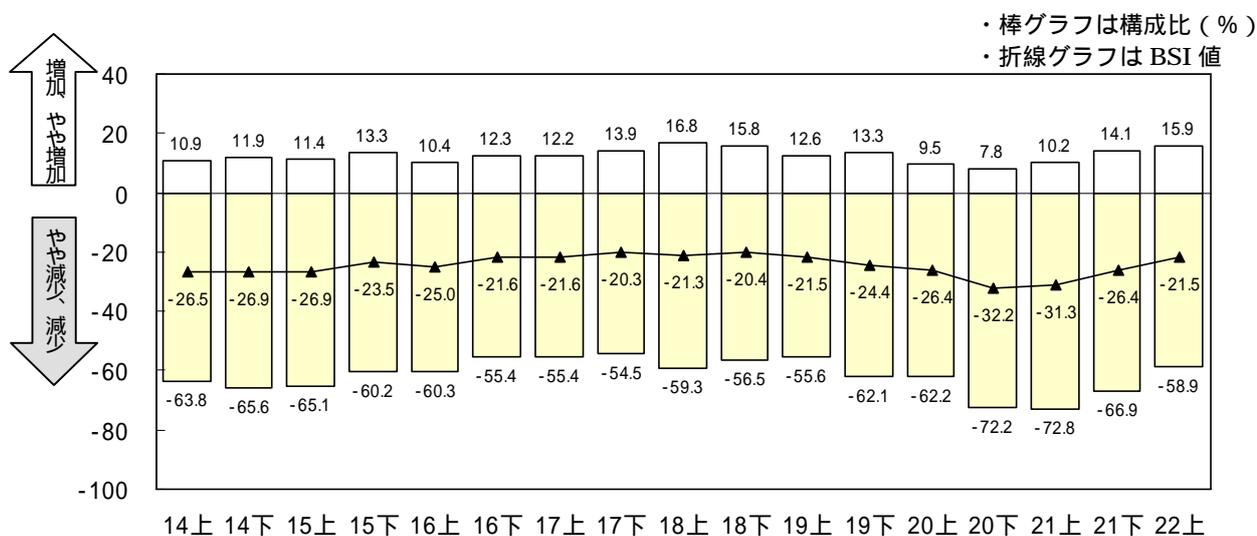
	実 績		
	21 年 1 月～6 月期	21 年 7 月～12 月期	22 年 1 月～6 月期
全 産 業	62.6	52.8	43.0
	68.1	61.0	53.4
製 造 業	57.9	55.3	34.1
	64.0	64.5	58.0
建 設 業	68.2	64.2	43.4
	71.3	66.7	41.6
卸 売 業	62.5	56.4	57.1
	72.0	57.9	69.3
小 売 業	59.5	47.6	28.5
	66.6	60.4	45.7
飲 食 業	78.7	58.8	90.0
	60.0	54.6	88.9
サ-ビス業	61.4	44.4	43.8
	65.5	52.8	56.6

DI = 好転 (高い) の割合 - 悪化 (低下) の割合

はマイナス表示

下段DI値は小規模企業

図 - 5 利益状況



5 . 販売条件と仕入条件

(1) 販売条件 (表 - 4、図 - 6 参照)

小売業で良化を示す。(前期 58.7 今期 18.3)

全産業の販売条件判断DIは 38.7 と前期 51.8 に比べ 13.1 ポイント上昇となった。業種別で見ると小売業で 40.4 ポイント上昇と高い数値を示した。小規模企業でも同様の動きを示している。

表 - 4 販売条件

	実 績		
	21年1月～6月期	21年7月～12月期	22年1月～6月期
全 産 業	56.0	51.8	38.7
	58.0	53.6	39.2
製 造 業	51.8	54.2	39.0
	52.3	61.3	46.0
建 設 業	58.1	56.2	37.6
	60.4	56.2	37.7
卸 売 業	57.8	51.2	51.3
	60.0	47.4	38.5
小 売 業	59.4	58.7	18.3
	59.8	65.2	28.5
飲 食 業	44.5	47.0	60.0
	60.0	36.4	55.5
サービ	54.7	46.0	46.1
	55.9	43.4	45.3

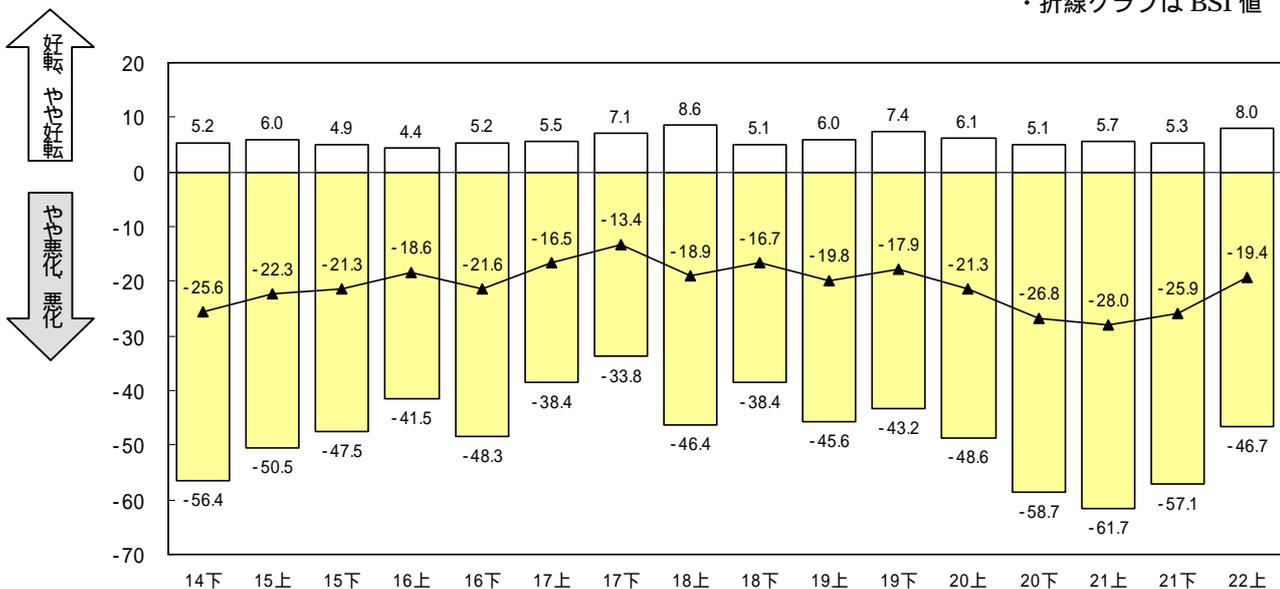
DI = 好転 (高い) の割合 - 悪化 (低下) の割合

はマイナス表示

下段()内DI値は小規模企業

図 - 6 販売条件

・棒グラフは構成比 (%)
・折線グラフはBSI値



(2) 仕入条件 (表 - 5、図 - 7 参照)

全産業の仕入判断DIは横ばい。

仕入条件は業種別ではバラツキが見られる。

全産業の仕入状況判断DIは 28.1 と前期 27.7 に比べ 0.4 ポイント降下となった。産業別で見ると上昇を示したのは小売業の 7.9 ポイント、横ばいはサービス業 4.4 ポイント・建設業 3.2 ポイント、下降を示したのは製造業 10 ポイント・卸売業 9 ポイントとなっている。しかし小規模企業では卸売業は 11 ポイント改善、サービス業 5.7 ポイント悪化と全体とは逆の数値を示す結果となった。

表 - 5 仕入条件

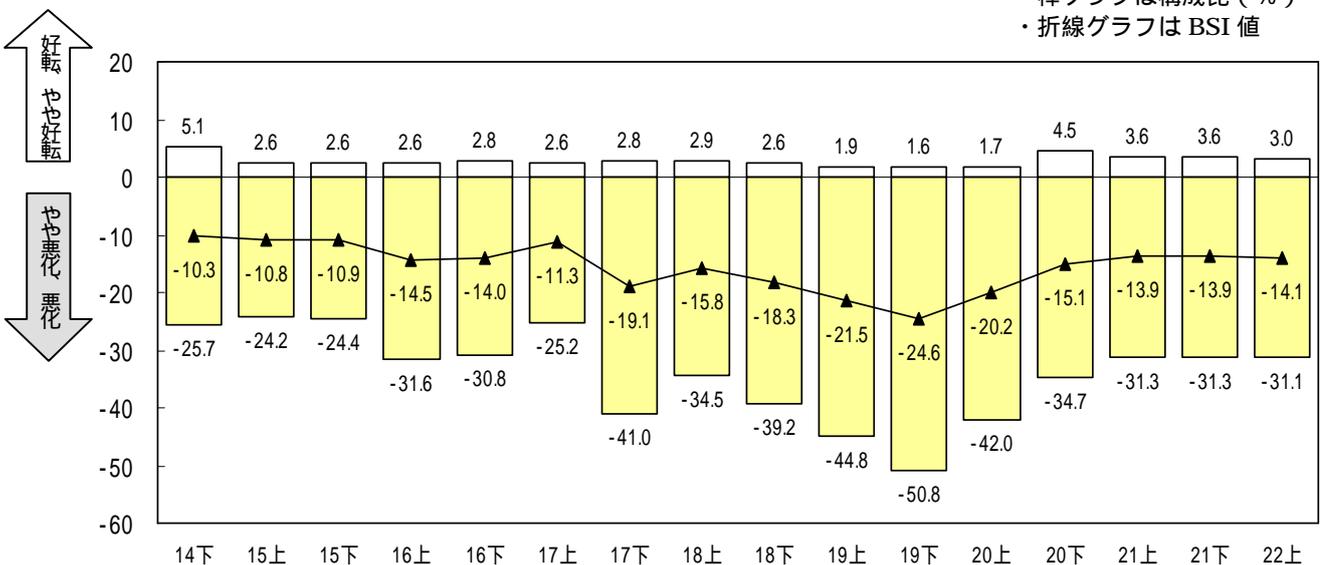
	実 績		
	21 年 1 月 ~ 6 月 期	21 年 7 月 ~ 12 月 期	22 年 1 月 ~ 6 月 期
全 産 業	30.2	27.7	28.1
	34.8	28.3	28.2
製 造 業	25.5	22.9	32.9
	32.5	29.1	36.0
建 設 業	35.8	33.9	30.7
	36.8	33.3	29.9
卸 売 業	31.2	28.1	37.1
	40.0	26.4	15.4
小 売 業	32.1	22.2	14.3
	37.5	25.6	19.9
飲 食 業	38.9	17.7	40.0
	30.0	()	33.3
サ ー ビ ス 業	26.0	29.0	24.6
	33.3	20.7	26.4

DI = 好転 (高い) の割合 - 悪化 (低下) の割合

はマイナス表示

下段DI値は小規模企業

図 - 7 仕入条件



6. 設備投資（表 - 6 参照）

（1）今期の動向

設備投資は昨期に集中。今期は微減・横ばいで一服感。

今期設備投資を実施した企業は、377 企業中 74 企業 19.6%と前期 21.7%と比べ、2.1 ポイントの減少となった。業種別では建設業では 1.6 ポイントの微増を示すものの実企業数では昨期 14 企業、今期 12 企業と有意な傾向は認められない。その他の業種では横ばい、もしくは減少となった。小規模企業で見ても同様の傾向を示している。

（2）来期の計画

来期も慎重な見通し。製造業でやや増加見込か。

全産業中、来期設備投資を予定している企業は377企業中64企業17.0%と今期実績値19.6%に比べ2.6ポイント減少する見込となっている。業種別では製造業では31.7%（82企業中26企業）が設備投資を行う予定としているが、それ以外の業種では横ばい、もしくは減少の見込である。

表 - 6 設備投資実施企業割合

（単位：％）

	実 績			来期計画	
	21年1月～6月期	21年7月～12月期	22年1月～6月期	22年7月～12月期	
全 産 業	18.2 11.7	21.7 15.2	19.6 13.3	17.0 9.4	
製 造 業	24.1 12.8	28.1 21.0	24.4 20.0	31.7 22.0	
建 設 業	13.1 13.0	12.5 10.4	14.1 14.3	5.9 5.2	
卸 売 業	14.1 4.0	20.5 5.3	17.1 0.0	20.0 0.0	
小 売 業	17.9 4.2	19.0 11.6	14.3 5.7	14.3 11.4	
飲 食 業	27.8 10.0	35.3 36.4	10.0 11.1	0.0 0.0	
サ ー ビ ス 業	17.3 9.5	24.0 18.9	22.5 15.1	12.4 7.5	

下段の値は小規模企業

7. 資金繰りの動向（表 - 7、図 - 8 参照）

（1）今期の動向

資金繰りは9.7ポイント改善。中でも卸売業で大きく改善（12.4ポイント）

全産業の今期の資金繰り判断DIは 32.0と前期 22.3に比べ9.7ポイントの改善となった。業種別で見ても改善を示しており、小規模企業でも同様となっている。

(2) 来期の見通し

来期の資金繰り見通しは「横ばい・やや減少」で推移の見込。

全産業の来期資金繰り判断DIは 27.1と今期実績値 22.3に比べ、4.8ポイント減少の見通しである。

表 - 7 資金繰り

	実 績			来期見通し
	21年1月～6月期	21年7月～12月期	22年1月～6月期	22年7月～12月期
全 産 業	40.2	32.0	22.3	27.1
	44.3	38.2	31.3	32.9
製 造 業	42.1	32.3	20.6	25.7
	49.9	43.5	38.0	40.0
建 設 業	41.0	41.1	28.2	34.2
	42.4	42.7	29.9	35.1
卸 売 業	37.5	15.3	2.9	25.7
	64.0	21.1	15.4	46.2
小 売 業	30.3	26.9	18.3	14.3
	36.1	27.9	25.7	17.1
飲 食 業	66.7	58.8	70.0	70.0
	50.0	54.6	66.6	66.6
サービ業	43.4	31.0	22.5	29.2
	46.5	39.7	28.2	32.0

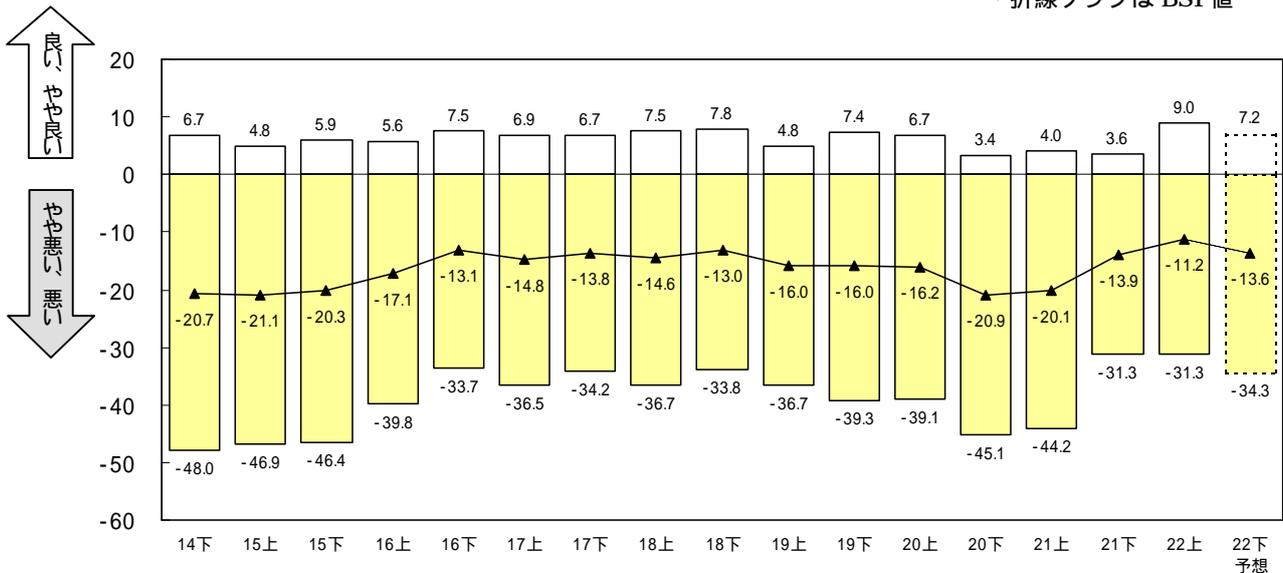
DI = 好転（高い）の割合 - 悪化（低下）の割合

はマイナス表示

下段DI値は小規模企業

図 - 8 資金繰りの現状と見通し

- ・棒グラフは構成比（%）
- ・折線グラフはBSI値



8 . 借入の動向（表 - 8 参照）

借入難易度は改善傾向。

全産業の借入難易度判断DIは6.2と前期3.0に比べ3.2ポイントの改善となった。業種別では、昨期は困難さが増した卸売業、サービス業で改善傾向を示した。その他の業種は微減または横ばいの状況を示している。小規模企業では1.0と前期2.1と若干の改善となった。

表 - 8 借入の難易度

	実 績		
	21年1月～6月期	21年7月～12月期	22年1月～6月期
全 産 業	1.1	3.0	6.2
	8.1	2.1	1.0
製 造 業	2.8	12.2	6.6
	4.4	9.1	3.8
建 設 業	5.7	3.3	4.6
	8.8	8.3	0.0
卸 売 業	5.3	0.0	23.5
	9.1	28.6	20.0
小 売 業	3.9	21.2	16.7
	4.2	33.3	12.5
飲 食 業	16.7	14.3	50.0
	0.0	25.0	0.0
サービ業	1.6	11.1	2.5
	38.1	31.9	17.4

DI = 好転（高い）の割合 - 悪化（低下）の割合

はマイナス表示

下段の値は小規模企業

9 . 借入予定と借入希望先（図 - 9 参照）

借入予定は減少を示す。卸・小売では運転資金から設備資金へ視点移動へ。

借入希望先では「民間金融機関を希望」が前期より増加。景況感アップで関係密接に。

全産業中、来期に借入を予定している企業は377企業中81企業で全体の21.5%、前期24.1%となり、借入希望は微減状況である。小売業では前述のとおり、売上状況・取引状況（販売・仕入）・資金繰りともに良化しており、借入予定は前期19.0%から今期16.3%へと減少している。

卸売業・小売業では前期の借入用途では設備資金借入予定は見られなかったが（前期は各0%）、今期では卸売業・小売業ともに25.0%の予定を示しており、資金繰り判断DI数値の改善を受けて、運転資金確保から設備投資への視点移動していることが考えられる。

借入希望先では、全産業の民間金融機関希望は69.1%と前期54.9%と比べ14.2%増加している。飲食業を除く全ての業種で民間金融機関を借入先に希望するとした数値は増加を示しており、景気回復を受けて金融機関との関係が密接になったことが伺える。

資金用途では建設業とサービス業では運転資金借入予定が若干増加したものの、それ以外では減少した。

図 - 9 - 借入予定

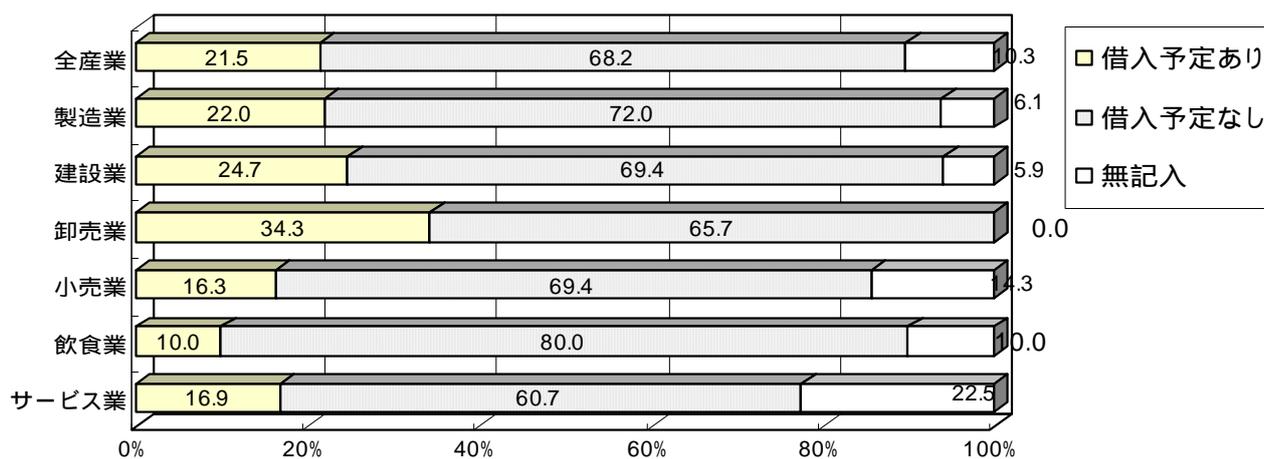


図 - 9 - 借入希望先

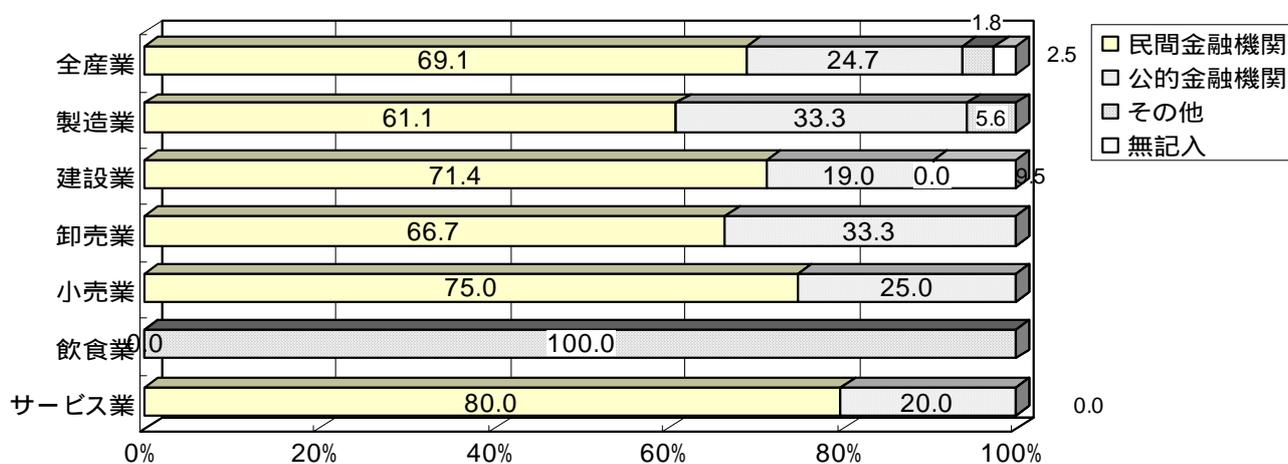
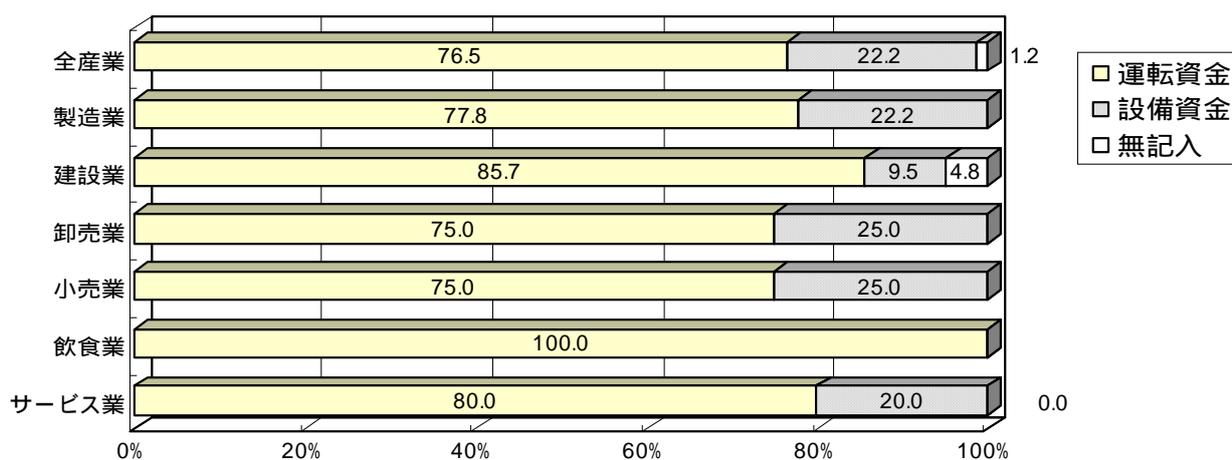


図 - 9 - 借入資金の使途予定



10. 経営上の問題点（3項目まで選択）（表 - 9、図 - 10 参照）

1位「売上・受注の停滞減少」2位「競争激化」3位「製品・商品単価の下落」

1位「売上・受注の停滞減少」は5ポイント減少

全産業の経営上の問題点は1・2位は15期連続で「売上・受注の停滞・減少」、「競争激化」となり、3位は前期に引き続き「製品・商品の単価の下落」となった。また2・3位「競争激化」と「製品・商品単価の下落」は比率を上昇させている。

業種別で見ると「売上・受注の停滞・減少」が全業種で1位となっているが、通年比較で見ると卸売業でそのポイントを上昇させているが、他の業種では概ね減少させている。

図 - 10 全産業・経営上の問題点

（単位：％）

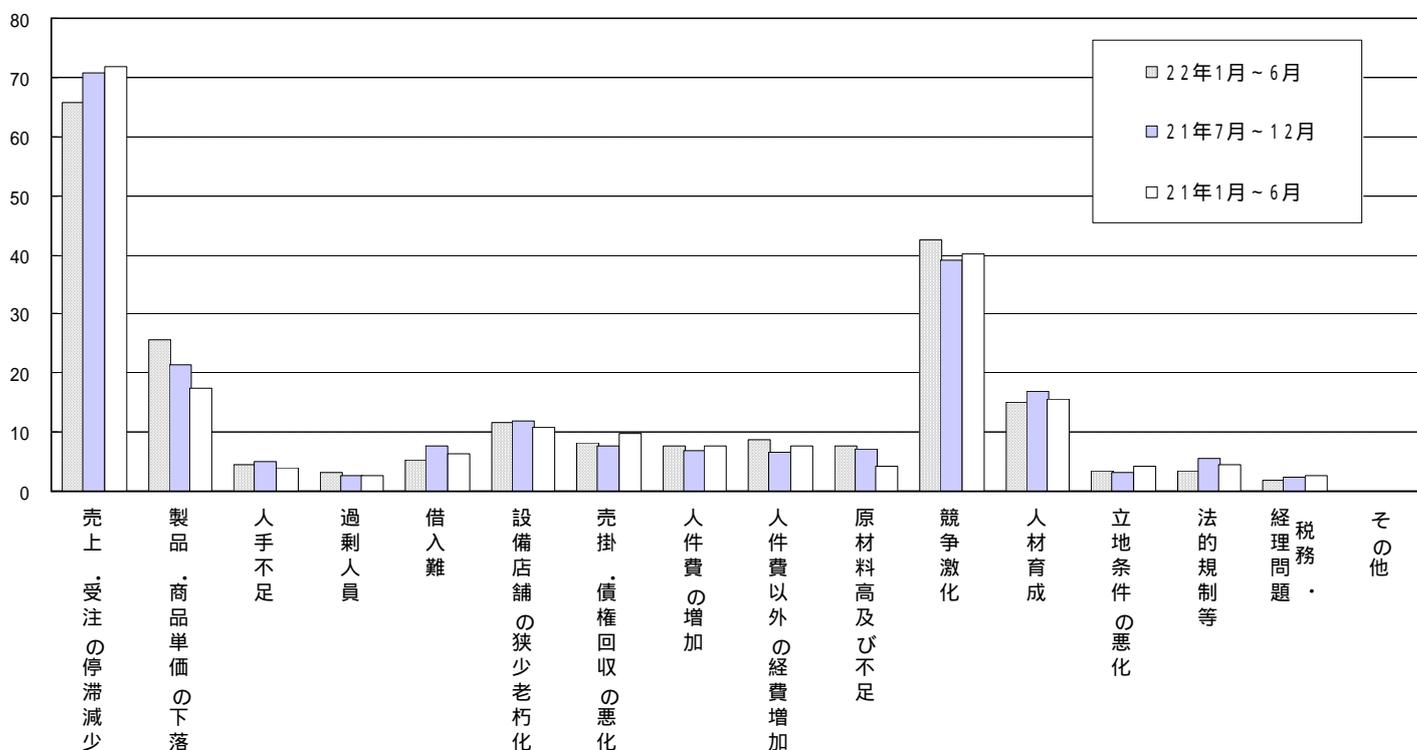


表 - 9 産業別・経営上の問題点

(単位：%)

順位 産業		21年7月～12月期			22年1月～6月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
産 業 別	全産業	売上・受注の 停滞減少 70.8	競争激化	製品・商品 単価の下落 21.3	売上・受注の 停滞減少 65.8	競争激化 42.4	製品・商品 単価の下落 25.5
	製造業	売上・受注の 停滞減少 80.2	製品・商品 単価の下落 42.7	競争激化 32.3	売上・受注の 停滞減少 72.0	製品・商品 単価の下落 42.7	競争激化 30.5
	建設業	売上・受注の 停滞減少 78.6	競争激化 47.3	製品・商品 単価の下落 19.6	売上・受注の 停滞減少 74.1	競争激化 51.8	製品・商品 単価の下落 23.5
	卸売業	売上・受注の 停滞減少 66.7	競争激化 51.3	代金回収の 悪化 25.6	売上・受注の 停滞減少 82.9	競争激化 68.6	製品・商品 単価の下落 31.4
	小売業	売上・受注の 停滞減少 68.3	競争激化 38.1	人材育成の 悪化 22.2	売上・受注の 停滞減少 59.2	競争激化 40.8	・製品・商品の単価 の下落 ・設備店舗の狭小老 朽化 18.4
	飲食業	売上・受注の 停滞減少 52.9	設備店舗の 狭小老朽化 29.4	人材育成の 悪化 23.5	売上・受注の 停滞減少 70.0	競争激化 30.0	設備店舗の 狭小老朽化 30.0
	サービス業	売上・受注の 停滞減少 64.0	競争激化 36.0	人材育成の 悪化 24.0	売上・受注の 停滞減少 47.2	競争激化 39.3	製品・商品 単価の下落 20.0

津地区の小規模企業景況 56

平成22年9月発行

編集 津商工会議所・中小企業相談所

発行 津商工会議所

(本所)

〒514-0033 津市丸之内2-9-14

TEL 228-9141 FAX 228-7317

(久居支所)

〒514-1135 津市久居本町1-3-47-1

TEL 255-2343 FAX 256-3665